



Conservation Alliance Japan

一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン

# Conservation Alliance Japan 2025 Annual Report

# What's CAJ

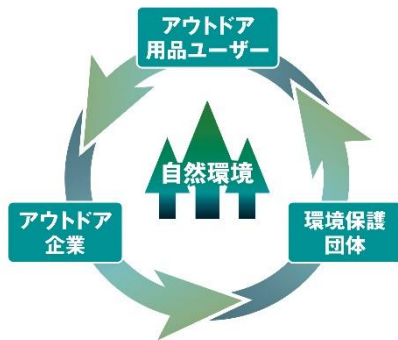
## わたしたちは、 アウトドアビジネスで得た利益の一部を 自然保護のために還元します

コンサベーション・アライアンス・ジャパン(CAJ)は、自然保護のために活動している日本の環境団体に、活動資金の援助を行なうことを目的に、アウトドア関連企業が集まって2000年7月に設立した基金団体です。

各社の売上規模によって決定した年会費を基金(アウトドア環境保護基金)として集め、アウトドアフィールド中心とした自然環境保護活動に対し、資金提供をしています。

コンサベーション・アライアンス・ジャパンの参加企業は、すべてアウトドア関連企業です。私たちがアウトドアビジネスで得た利益の一部を、自然環境保護のための活動資金として助成、支援することは、間接的にユーザーが自然保護のために資金提供することにつながります。

### 自然環境保全のポジティブ・スパイラル



## 【MISSION】

CAJは日本の価値あるアウトドア・フィールドの保全を目的とする、緊急的かつ有効な保全活動を行っている環境保全グループを支援します。

多くの人々がアウトドアレクリエーションを楽しみ、固有の野生動物を育ててきた多様性に満ちた日本の豊かな山や森、川や海を次世代へと継承するために、草の根的に活動する団体を支援していくことはアウトドア企業としての責務だと認識しています。

## 【VALUE】

### Catalyst(触媒として)

アウトドア産業のベースとなる自然環境の保護や保全に取り組む非営利団体とアウトドアビジネスを結び付け、ブランド、サプライヤー、リテーラー、キャンプ場、メディアを問わず、アウトドア産業界全体で協働する機運を高め、積極的な関与を促します。

### Collective Impact(集合的な影響力)

CAJの強みは、切磋琢磨している競合ビジネス同志が、健全な自然環境を持続させるという共通目標のもと、メンバーが一丸となって団結協働することで、社会的にも大きな影響力を及ぼすことができます。

### Give Back(還元)

CAJのメンバー企業は、ユーザーが次世代にもわたってアウトドアを楽しめるように、ユーザーから得た売上の一部をフィールドの保護や保全活動に取り組む非営利団体に還元します。

### Field Work (現場活動主義)

CAJの支援は、特定の土地や水域など、実際のフィールドに即した直接的な活動をしている非営利の自然保護プロジェクトにフォーカスしています。

# What's CAJ

## ■設立経緯

1989年、アメリカにおいて、アウトドア業界の各社が、ビジネスで得た利益の一部を自然環境保護のために還元する目的で、The Conservation Allianceという団体を設立しました。現在、アメリカの参加メンバーは230社を超え、自然保護のために大きな成果を上げています。それをきっかけに日本でも有志が集まり、2年半の準備期間を経て2000年7月、任意団体としてコンサベーション・アライアンス・ジャパンが設立されました。約20年の活動を積み重ね、今後更にインパクトある環境貢献の創出の為に、2019年6月に一般社団法人化いたしました。

## ■2030年ビジョン

### <Catalyst>

アウトドア業界のサステナビリティに関するハブになっている

### <Collective Impact>

主要アウトドア関連企業の過半を含む100社が加盟するCAJは、日本のアウトドア・フィールドの持続的な保全と利用に取り組む団体にとって重要かつ安定的な資金源となるとともに、ユーザーもCAJ加盟企業の製品・サービスを優先的に選択するようになっている

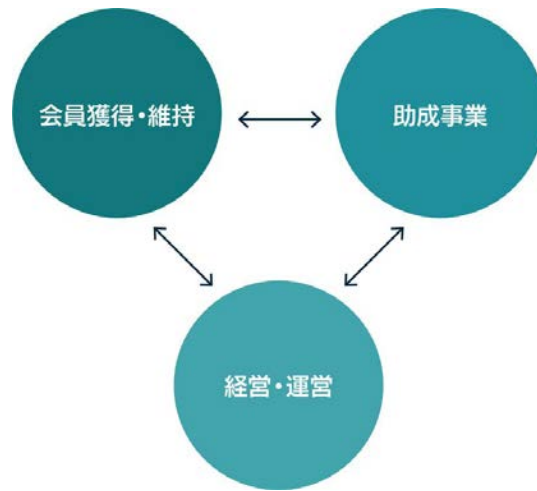
### <Give Back>

アウトドア業界全体に自然保護に対する倫理観が確立され、年間2500万円規模の助成が行われている

### <Field Work>

効果的なプロジェクトの支援を通じて複数のアウトドア・フィールドの保護・修復が実現している

## ■運営方針: 3領域のポジティブ・スパイラル



### <会員獲得・維持>

助成成果の創出と広報を通じてCAJの認知を高めることに加え、各種勉強会、会員企業社員参加型のイベント等の開催を通じて、会員が継続するベネフィットを創出する

### <助成事業>

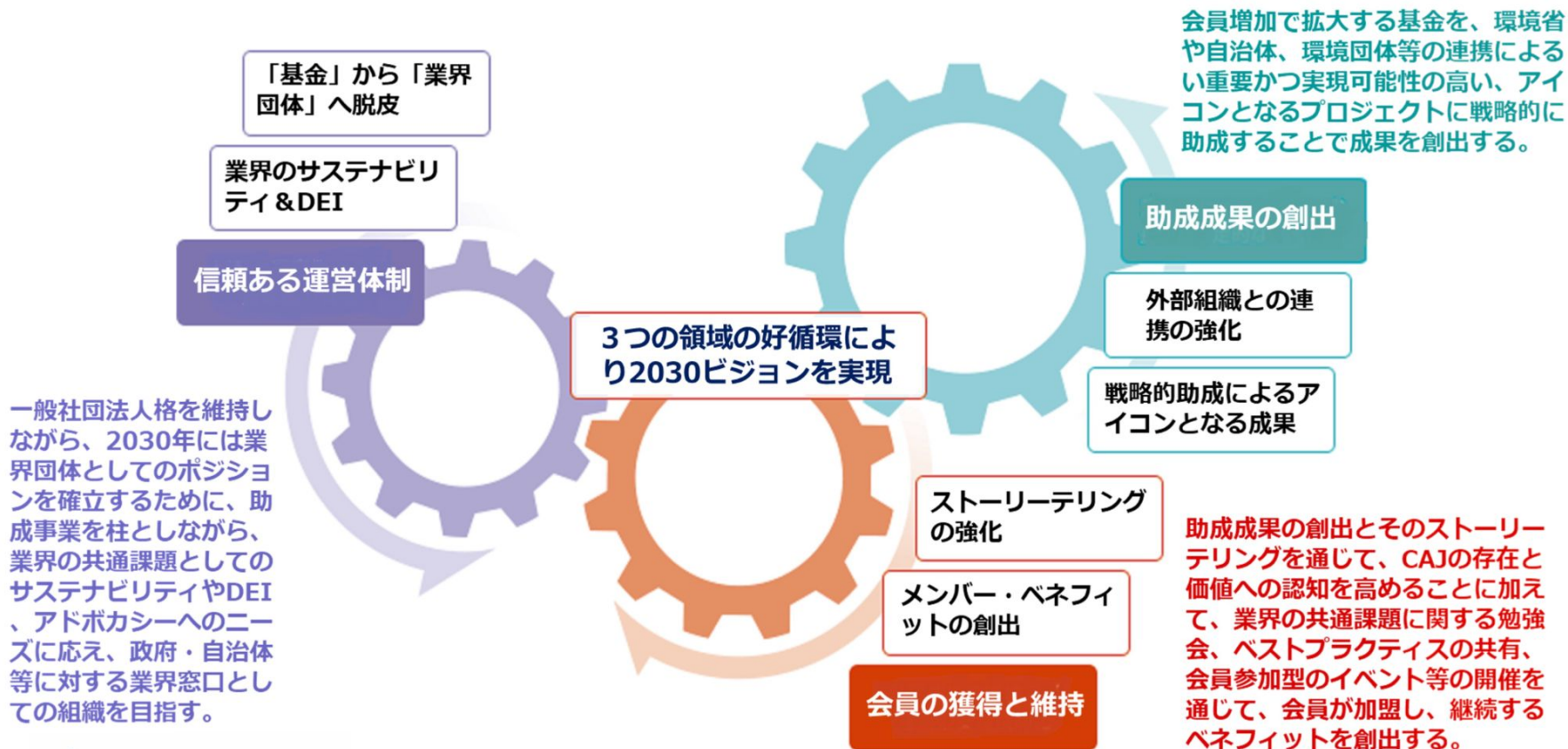
会員増加により拡大する基金を価値ある自然環境の保全に取り組む、実現可能性のあるプロジェクトを中心に助成することで成果を創出する

### <経営・運営>

一般社団法人化と共に運営・事務局体制を強化し、透明性のある事業運営を維持しつつ、成果を出すための柔軟な業務執行を行う

# Road to 2030

## CAJ2030ビジョン実現に向けたアプローチ



# Road to 2030

		Phase 1 (2022-2024) ※中期計画対象	Phase 2 (2025-2027)	Phase 3 (2028-2030)
KPI	年助成額/ 会員総数	2022年(1150万円/60社) 2023年(1300万円/75社) 2024年(1600万円/100社)	2025年(1800万円/120社) 2026年(2000万円/140社) 2027年(2200万円/160社)	2028年(2300万円/180社) 2029年(2400万円/190社) 2030年(2500万円/200社)
信頼ある運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>基金から業界団体へ</li> <li>サステナビリティ</li> <li>DEI</li> </ul>	公益レベルのガバナンス維持	(仮称) 日本アウトドア産業協会 (JOIA) へとシフト	
		事務局機能の強化	アウトドア基金+サステナビリティ+アドボカシー+ダイバーシティ+ユース	
		委員会      外部アドバイザー	有給専属スタッフ	
会員の獲得と維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報</li> <li>メンバー・ベネフィット</li> <li>会員企業社員の巻き込み</li> <li>ユースのアウトドア参加</li> </ul>	ストーリーテリング強化、会員ベネフィットの創出	業界団体として業界の持続性、アドボカシー、情報発信	
		未加盟主要アウトドア企業の加盟促進	メンバーシップの範囲をアウトドアと親和性の高いビジネスへと拡大	
		OCAC勉強会      会員のサステナビリティ向上支援	NET ZERO 2030 目標	
		バックヤード・コレクティブの継続	ユース&ダイバーシティ・プログラム	
助成成果の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的助成</li> <li>外部連携</li> <li>成果指標</li> </ul>	会員増加による基金規模拡大&成果創出	「アウトドア基金」=アウトドア自然保護基金+ユースアウトドア基金	
		アウトドア自然保護基金=アウトドア・フィールドとして価値の高い自然環境・景観を保護するプロジェクトにフォーカス		
		戦略的助成：環境省、NACS-J、地権者等と連携強化		
		ユースアウトドア基金：ユース世代のアウトドア体験を促進する		

※22年度計画にて中期ビジョンを見直し、ゴールを2025年から2030に延長した

# Review of 2025

## 貸借対照表

令和08年03月31日 現在

一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	76,511,657	【流動負債】	1,274,554
現金及び預金	76,091,657	未払金	82,554
未収入金	420,000	未払費用	22,000
		前受金	1,100,000
		未払法人税等	70,000
		負債の部合計	1,274,554
		純資産の部	
		科目	金額
		【株主資本】	75,237,103
		利益剰余金	75,237,103
		その他利益剰余金	75,237,103
		繰越利益剰余金	75,237,103
		(うち当期純利益)	9,950,067
		純資産の部合計	75,237,103
資産の部合計	76,511,657	負債・純資産の部合計	76,511,657

# Review of 2025

## 損益計算書

自 令和07年04月01日

至 令和08年03月31日

一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
【売上原価】		
合計	0	
売上総利益		0
【販売費及び一般管理費】		8,337,042
営業損失		△ 8,337,042
【営業外収益】		
受取利息	156,904	
雑収入	18,436,338	18,593,242
【営業外費用】		
支払利息	2,033	2,033
経常利益		10,254,167
【特別利益】		
【特別損失】		
税引前当期純利益		10,254,167
法人税等		304,100
当期純利益		9,950,067

# Review of 2025

## 販売費及び一般管理費内訳書

自 令和07年04月01日

至 令和08年03月31日

一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン

(単位：円)

科目	金額	
【販売費及び一般管理費】		
広告宣伝費	215,600	
接待交際費	11,000	
旅費交通費	599,784	
通信費	82,511	
租税公課	39,745	
支払手数料	1,461,482	
支払報酬	429,000	
寄付金	4,800,000	
減価償却費	109,318	
貸倒損失	190,000	
雑費	398,602	
販売費及び一般管理費合計		8,337,042

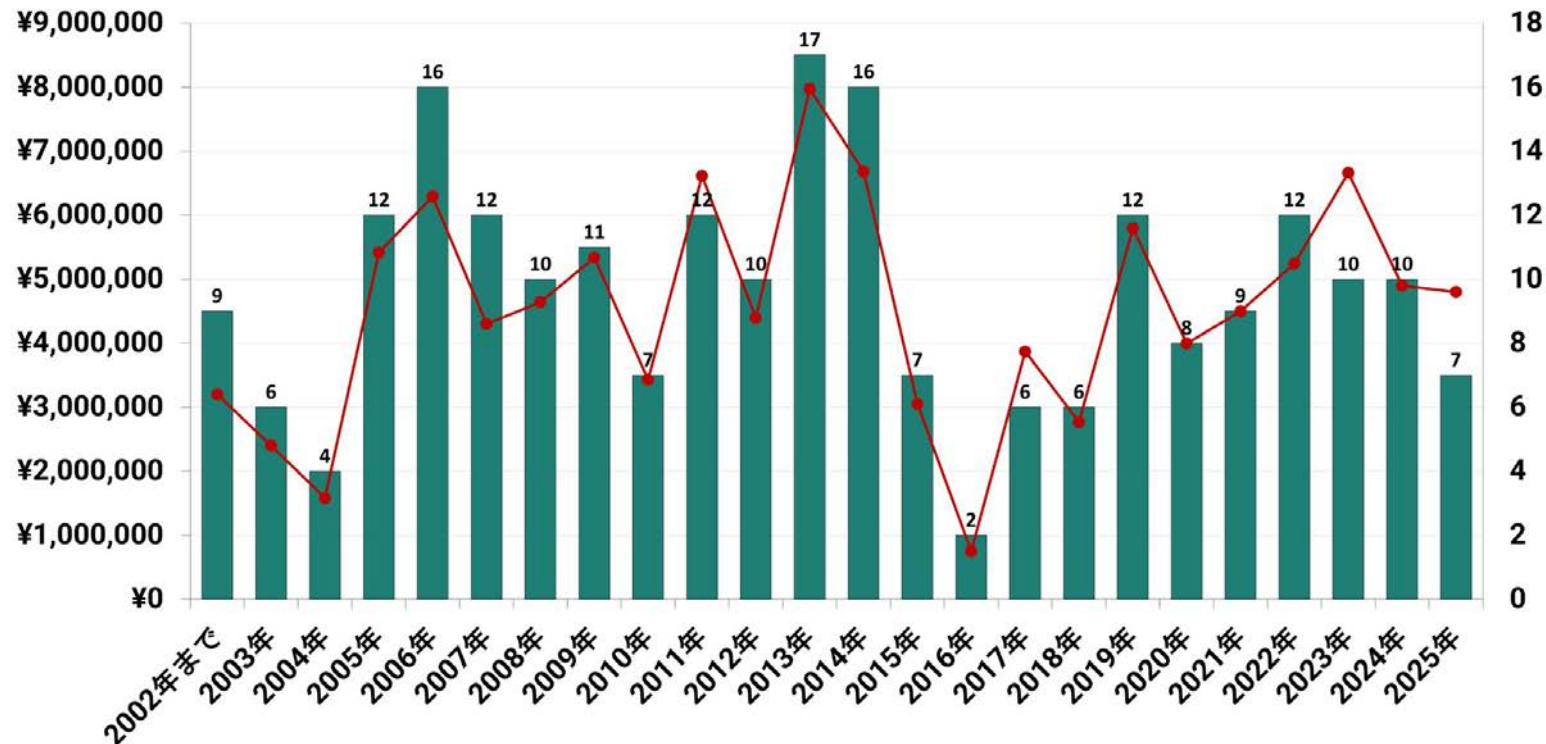
# 中期方針

## アウトドアコミュニティの力を結集して 生物多様性を保全し、 気候危機から私たちのフィールドを守る

気候変動緩和と生物多様性保全のいずれもが両立するような活動に注目し、  
森林や里山、海洋など、炭素の固定化を促進できる健全な自然生態系を保全。  
脱炭素化をめざすとともに、持続可能な形でアウトドアを楽しむことができる日本の自然環境を守る

# Grants Achievements

■ 助成プロジェクト数 ■ 助成総額



# Grants

## <前期>

- ・奥信濃登山道整備  
【100年先につなぐ奥信濃登山道再生計画】
- ・一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構  
【登山道保全リーダー育成プログラム】
- ・特定非営利活動法人 MORE 企画  
【伊豆半島の海ゴミ一掃！プロジェクト】



## <後期>

- ・一般社団法人 SF NIKKO  
【もどそう! 広葉樹の森へ 奥日光菖蒲ヶ浜】
- ・秩父多摩甲斐トレイルアソシエーション  
【秩父多摩甲斐国立公園における登山道管理の仕組み作】
- ・特定非営利活動法人Lakeside Stories  
【アップサイクルプロジェクト -奥日光中禅寺湖の湖底ごみ回収と持続的な仕組みづくり】

## <戦略助成>

- ・特定非営利活動法人Leave no trace japan  
【ホットスポットプログラム(継続)】

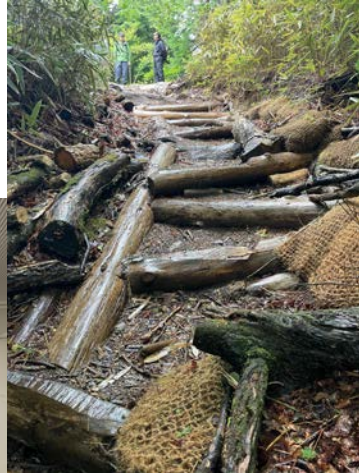


計7団体 支援総額¥ 4,800,000

# Activity

## 年次総会 & 登山道整備 (5/30~31)

山中湖で開催。連携協定を締結した日本自然保護協会の理事長方々をお招きした講演会、翌日は富士トレイルランナーズクラブの協力のもと、石割山の近自然工法による登山道整備の現場を視察した。



## Tokyo Outdoor Show 2025 (6/27~29)

幕張メッセにて4回目となるアウトドアイベントに出展。一般消費者へのリーチで認知拡大に寄与しただけでなく、ビジネスデイでは事業者ともコミュニケーションをとり、勧誘活動も実施した。



# Activity

## トレイル・メンテナンス・ミーティング 2025 in大船渡(9/27~28)

信越トレイルから始まった「トレイル・メンテナンス・ミーティング」を、今回はみちのく潮風トレイルが通る岩手県大船渡市三陸町で開催。大船渡市で発生した大規模林野火災からの復旧・環境保全をテーマに日米の専門家と地域関係者が語り、学び、実践する2日間でシンポジウムに三浦代表が登壇した。



## 隠岐ジオパーク「登山道保全リーダー 育成プログラム」(10/28~31)

助成先である一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構にて「国立公園、ジオパークの重要インフラである登山道の維持管理における人材育成の先進的取り組み」「成果と波及効果が期待され、CAJ戦略助成に発展させる可能性」について三浦代表が視察した。



# Activity

## 九州山岳保全フォーラム in 阿蘇2025 (11/29-30)

登山道整備及び山岳保全の認知向上・関心・連携喚起を目的として、九州で登山道整備を行っている阿蘇山道整備からの依頼で、三浦代表の登壇と後援の協力を行った。九州各地の登山道整備団体と各国立公園の環境職員、県や市町村の行政担当者が60名ほど参加。

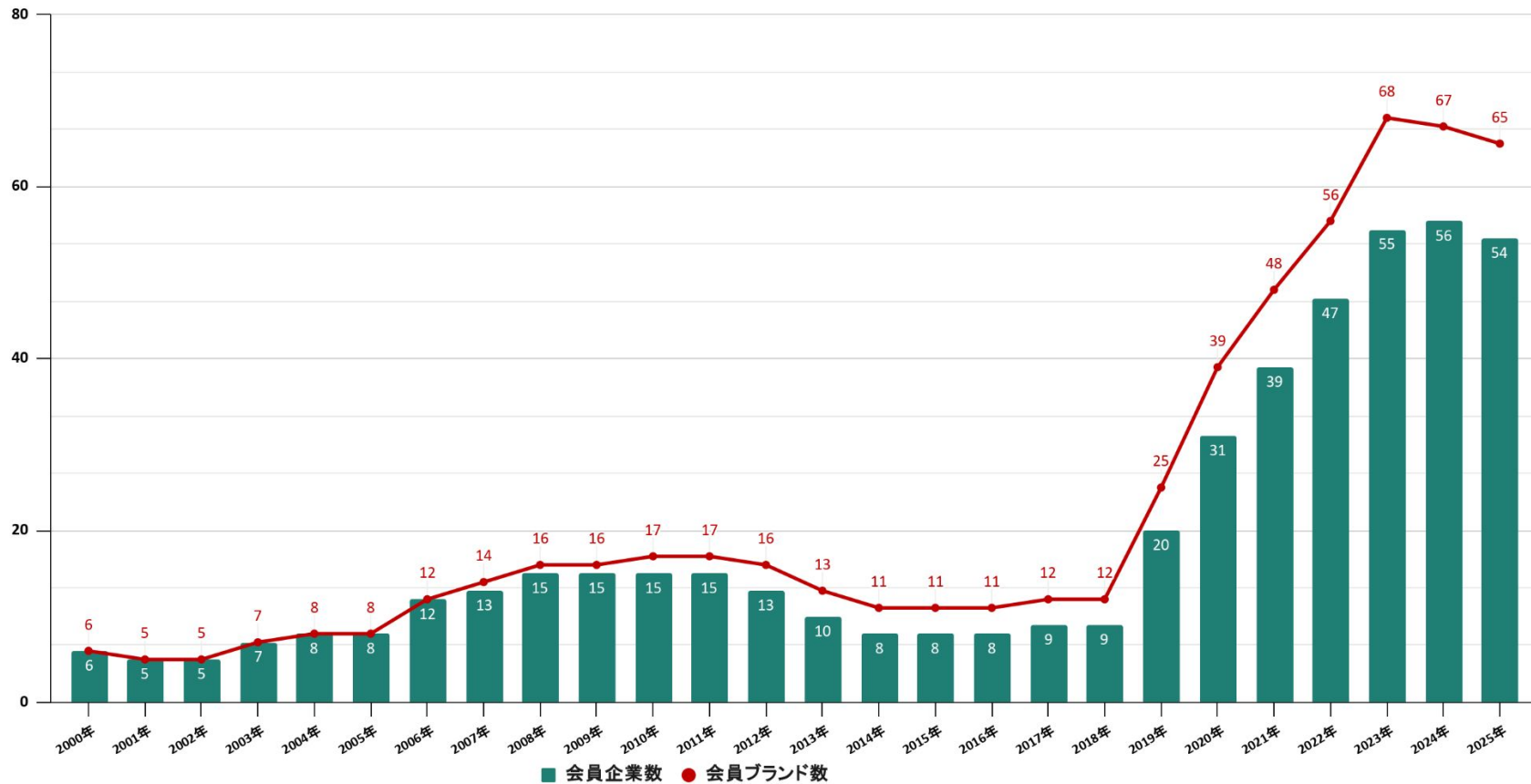


## Outdoor Innovation Summit 9th (1/28)

毎年恒例のOISにて実行委員会の構成とブース出展し、広報活動を実施。



# Number of Member



# New Member

2025年度新規入会



**Vixen**

一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン

事務局

〒150-0002 東京都八王子市東浅川町313-2  
株式会社ヨンロクニ内

事務局長：滝沢守生

E-mail: [info@outdoorconservation.jp](mailto:info@outdoorconservation.jp)

<https://outdoorconservation.jp/>

## Board Member

代表理事：三浦 務

専務理事：古幡 浩史

理事：齋藤 栄樹

理事：与茂 雅之

理事：渡部 麻里

理事：西野 美加

監事：篠 健司



Conservation Alliance Japan

一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン